

会員皆様におかれましては、懇
かしい新年をお迎えの事とお慶び
申し上げます。昨年は当連盟運営
に際し特段の御高配を賜りまして
心から厚く御礼申し上げます。
さて、今年は、あの東日本大震
災から丸六年を迎えます。関係各
位のご尽力により、当地方も少し
ずつ復興を実感するものの、まだ
まだ復興道半ばであり更なる復興
加速と安心安全な街づくりと喜び
あふれる地域づくりを強く切望す
る次第であります。

ところで、昨年開催された当連盟
主催又は、関係する各種大会にお
きましては、当連盟役員の皆様方
会員各位の御支援、御協力のお陰
で大きな成果を上げる事が出来ま

石巻創道連盟會長



重編後漢

劍道耕人

広報誌
第4号
発行所
石巻剣道連盟
広報記録部
印刷所
㈲明正社白印刷所

特に今年は、剣道の正しい伝承と発展の為「剣道の理念」に基づき指導のあり方やその心構えを再確認し広く剣道を理解いただく為第一回剣道祭を開催致しますので成功に向け連盟一丸となり取り組んでまいりますのでよろしくお願ひいたします。

今年も当連盟に対しましてのご支援ご協力賜りますよう心からお願い申し上げますと共に、今年も皆様にとりましてより良い年になりますようご祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。

した。これらのすべては月一回開催された理事会、各部会等、綿密な議論等の積み重ねの賜物であり、改めて感謝申し上げます。又昨年の各種大会の結果において特筆すべきは、当連盟関係者が、県内外においてすばらしい活躍、栄光に輝いた年がありました。このことは、当連盟におきまして、すばらしい実績、誇りであります。今年も当連盟におきましては、指導陣の育成強化の下、青少年の技術向上等しつかり取り組んでまいります。

遠藤勝雄範士（地元河北町出身）を迎へ、9月22日（秋分の日）にビッグバン柔劍道場で実施された9時開会、齋藤正美会長の挨拶の後、早速講習が開始。まず、準備された資料を基に、剣道形制定の経緯、そして制定された剣道形の現在までの解釈の揺れ等について話がなされた。一時間ほどの講話をあつたが、多くの体験談、思い出話を交えながらのお話だったのと、講習生（19名参加）は、楽しく拝聴しながらも、剣道形に対する造詣を大いに深めることができた時間だった。休憩を挟み、いよいよ実技へと移つた。まず立会前後の所作、刀の取り扱い方等について。我々にとっては普段練習する機会の少ないことについて、理解合いに基づいた詳細な解説を交えてのご指導。入退場の仕方、帶刀・抜刀、納刀の仕方等、微に入り細にわたつてご指導いただいた。再び小休止の後、太刀一本目二本目について、午前中の講習はここで終了した。昼食休憩後、太刀三本目から。「機を見て」「入り身にならんところ」など玄妙な表現の意味するところを懇切丁寧な解説を交えながら実技指導をしていただけた。理屈では分かっているつもりでも実際にやってみると、相手

との呼吸の合わせ方（合気になること）、適切な間合いの把握等々難しく満足できる演武はなかなかできなかった。折に触れ研鑽を積んでいくことの大切さを改めて痛感させられた。我々講習生の現状に合わせて、遠藤先生には予定より早めに講習を終了していただきたが、先生のご都合により講習後の指導稽古をいただけなかつたことが心残りである。次年度以降、会員各位が研鑽を積み、この講習会に多くの方が参加されることを願いたい。お帰りになる際の先生の一言、「形はうつ度に新しい疑問が湧いたり、新しい発見があつたりする…」印象に深く残つたお言葉である。



日本剣道形講習会

錬成大会を終えて

事業部部長 木村 剛美

去る平成二十八年十月九日(日)

第五回石巻地区少年剣道錬成大会が盛大に行われました。合併三年目となり、石巻地区の少年剣士にとっては、恒例の大会になりつづけます。今年度は、小・中学生二百九十九名と多数の参加者を得て、特に中学生Ⅱ部においては、七十八名の出場となり、中学入学と同時に剣道を志す生徒が増えていることを大変嬉しく思います。

開会式、湯殿山剣道・安海留主将の力強い選手宣誓、演武では、日本剣道形、木刀による剣道基本技稽古法を皮切りに大会が幕を開けました。今年度の日本剣道形は、石巻剣道連盟女性部の柴田・山本両先生にお願いし、理合や呼吸、気迫の大切さを演武の中で披露していただきました。

今年度も、選手の試合態度、節度ある応援や観戦がとても素晴らしく、何と言つても小学生低学年の「気合い」の良さが目を引きました。各団ごとに、氣剣体の「気」の部分を大切に指導していただきたいことに感謝いたします。小

学生団体優勝の一心堂剣道Aの皆さん、そして各部門個人戦入賞をされた選手が、今年度は全国優勝を

勝ち取っています。菅野隆介さん(北村・河南西中出身・個人団体)小松加奈さん(一心堂・青葉中出身・インターハイ女子個人)、です。正に「継続は力なり」を石巻出身として実行した証です。

「正しい構えから、大きな技で」、

未来の宝でもある少年剣士が、伸び伸びと試合の中で表現できる大会を今後も目指していきます。

結びに、大会運営・審判に携わっていただいた剣連各部の先生方、準備から後片付け、係としてご協力いただいた保護者の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

小学生個人二年生以下の部(男女混合)	
第一位 酒井 新太(一心堂)	第二位 相野谷劍心(一心堂)
第三位 阿部嬉楽良(湯殿山剣道スポーツ少)	片倉 優衣(梅木剣道スポーツ少)

小学生個人三・四年の部(男子)

第一位 初貝 儒季(正心学館道場)
第二位 伊藤 優河(三獅劍友会)
第三位 立山 真也(正心学館道場)

小学生個人三・四年の部(女子)

第一位 久保 琳音(一心堂)
第二位 相野谷明花莉(一心堂)
第三位 遠藤 羽夏(正心学館道場)

小学生個人五・六年の部(男子)

第一位 久保 冬晟(一心堂)
第二位 戸田 陸斗(一心堂)
第三位 佐藤 翔(三獅劍友会)

小学生個人五・六年の部(女子)

第一位 伊藤 心(蛇田剣道スポーツ少)
第二位 吉田 智菜(湯殿山剣道スポーツ少)
第三位 相野谷彩羽(一心堂)

中学生個人I部(女子)

第一位 丹野 妃彩(門脇中学校)
第二位 吉田 加奈(門脇中学校)
第三位 濱川加代子(蛇田中学校)

中学生個人II部(男子)

第一位 大橋 瑞輝(一心堂)
第二位 遠藤 彪羽(石巻中学校)
第三位 水間 琉維(住吉中学校)

中学生個人II部(女子)

第一位 相澤 志咲(河南東中学校)
第二位 清水 凜音(稻井剣道)
第三位 千葉 夕子(蛇田中学校)

中学生団体の部

第一位 戸田 陸斗
第二位 相野谷彩羽
第三位 中堅 戸澤 千夏

中学生個人I部(男子)

第一位 伊藤 うみ(鳴瀬未来中学校)
第二位 先鋒 戸田 陸斗
第三位 次鋒 相野谷彩羽

中学生個人II部(男子)

第一位 伊藤 うみ(鳴瀬未来中学校)
第二位 優勝 戸田 翔海
第三位 大将 久保 冬晟

中学生個人II部(女子)

第一位 準優勝 幌田剣道道場A
第二位 桃武館剣道スポーツ少年団A
第三位 蛇田剣道スポーツ少年団A

中学生個人I部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人I部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(男子)

第一位 佐藤 磨耶(蛇田中学校)
第二位 高瀬 涼平(蛇田中学校)
第三位 遠藤 佐藤 健人(護国館剣道スポーツ少)

中学生個人II部(女子)



回
想

宮剣連居合道部副会長
石巻剣道連盟顧問

齋藤義

剣道との出会いは、昭和四十一
年四月に河南町立須江中学校（現
在河南東中学校統合）に転任した
際、剣道部顧問をめいぜられたこ

とがきっかけである。自分としては
野球部か卓球部を希望したので
すが、私が就任した時は剣道部だ
けしか顧問があいていない状態だ
ったので、仕方なく引き受けるこ
とに至ったのです。これが剣道と
の出会いです（36才）。その後修
業を続いている中に「剣道は教育
にはかかすことのできないもの
一つである」と思うようになつた
のです。剣道の理念に「剣道は剣
道は礼に始まつて礼に終わる」と
云われていることから、生徒指導

上大切な事の一つだと思います。
部員に対しては勿論のこと、他の
生徒に対しても常にそのような考
え方で接してきました。生徒にと
つては厳しい先生だと思われたか
もしれませんが、できるだけ楽し
い学校生活ができるよう配慮した
つもりです。でも私の教育に対する
信念は変わりませんでした。今
もなお変わりません。

さて居合道との出会いはどうか

というと、昭和四十二年度石巻剣
道連盟（旧）の総会の時、高橋昭
三先生（故）が「齋藤君！居合や
剣道をみないか？」と云われた時で
ありました。帰路先生宅にお邪魔
し、高橋先生の演武を見学させて
頂き、身震いする程でした。一度
も見た事もなく、初めて見る先生
の姿に目を奪われ、心が凍りつき、
精神修養のためやってみようかと
思い始めたのが最初でした。

以来五十数年さまざまな出来事
がありました。故今野三匡先生に
指導を受け、故草間昭盛範士に師
事、指導を受ける。皆様ご逝去な
ど、悲しい限りです。

「剣居一体」を目指して修業に
取り組み、最初は家族全員で修業
に励んできましたが、今は自分だけ
になつてしましました。家庭的な
雰囲気の中にも礼儀作法を重ん
じ、厳しい修練に耐え、いつかは

人間形成の道にプラスになるだろ
うと信じて修業を努めてまいりま
した。自分自身も体調不良で思う
ように体が動きませんが、現在は
十名程門弟と一緒に修業に励み精
神の高揚と技術の向上を目指して
精進し努力しているところです。
平成二十年第四十三回全日本居
合道大会が本県で開催され、本県
選手団の監督として携りました。
選手の皆様方は大変だったと思う。
全剣連から派遣された先生方には
ご苦労を掛けました。選手一人ひ
とりの弱点を指摘し、気合いの入
った指導をされたことを今更によ
うに思い出します。お陰様で本県
が優勝しました。

海外派遣についてはフランス二

回、イタリア一回行つきました
が、これは全日本剣道連盟から命
ぜられて、現地での指導、段位審
査を実施しました。それから有名
な場所の見学最高の思い出になり
心に焼き付いています。

さて思い出を綴つてみましたが、
これからは高齢化社会が進み、全
てに於いてますます厳しくなると
思います。自分も高齢者の仲間入り
し、体力は日に日に劣ってきて
いますが気迫と精神力をもつて今
後とも精進して居合道発展のため
努力してまいりたいと思っています。

では最初にして最後かという気持
ちで感無量でした。
長崎市内の夜景が素晴らしい市
街地は傾斜が多く、市の八十%が
この地形で底の部分が港になつて
おり、船舶が往来している。私も
何度も諸外国を訪問しましたが、
このような光景は見た事がなく、
翌日タクシーで空港から途中強行
車で見て回りました。

出島、グラバー園、孔子廟、大

浦天主堂、オランダ坂など、眼鏡橋と寺町を

過ぎる頃、丁度正午で教会の鐘が
鳴り響き、ふと藤山一郎の「長崎
の鐘」を思い出しました。

晴天に恵まれ空港へと向かい長
崎を後にしました。

さて思い出を綴つてみましたが、
これからは高齢化社会が進み、全
てに於いてますます厳しくなると
思います。自分も高齢者の仲間入り
し、体力は日に日に劣ってきて
いますが気迫と精神力をもつて今
後とも精進して居合道発展のため
努力してまいりたいと思っています。

話は変わりますが、平成二十一
年九月二十四日（土）第四十四回全
本居合道大会が長崎県島原市で開
催され、私は本県選手団の監督と
して参加しました。会場は島原市
総合体育館で前年度の優勝（本県
旗返還の役をつとめ、昨年団体優
勝で優勝旗の重みを感じましたが、
今回は更に重みを感じ、私にとつ



早いもので、桃生郡剣道史で剣道との出会いについて書かせていましたが、20年近く経ちます。歳月はいたずらによくはまざります。こと、と痛感する今日このごろです。

さてこの度、剣道連盟大阪辨よりの突然の原稿依頼に些か戸惑いましたが、ながらも、剣道との出会いについて再度振り返り、前回の文章を補足するような形で筆を取る事にしました。

年、スポーツとしての剣道が復活した7月のある日、地元の青年がわが家庭で剣道を始めました。それはさながら戦国時代の一騎打ちといった様相で、お世辞にも剣道競技とは言えぬ喧嘩剣法です。

稽古が終わつた後、とお互に正座して礼を交わす姿が印象的だったことが記憶に残っています。

高校に入つてから始めた剣道は、基本練習は10日程度で、後は防具を着けてのたたき合いでした。先輩方の指導はただ一言「とにかく相手よりも先に叩け」、それだけでした。顧問の武山先生は当時、体育館の建設やグラウンド整備工事など、多忙な建設や工事で剣道の指導どころではなかつたのです。振り返ると、当時の私たちの剣道はただただ、チャンバラご



石巻劍道連盟顧問 松川利夫

剣道と私

努力はかねばう

菅野 隆介



剣道始めたばかりの頃

小さい目標を達成することが大きい目標を達成することに繋がると思っています。小学校の頃は、まずは町内大会で勝つという目標から、石巻管内で勝つ、全国で勝つという目標を立て、ひとつひとつ達成していこうと考えていましたしかし、そう簡単にはいきませんでしたが、うまくいかないときこそ自分の足りないところをしっかりと見つめ、具体的な目標を立てそれを達成できるように努力することを心がけています。

今は、稽古が辛いなど楽しめないこともあると思いますが、自分なりの目標を見つけてそれに向けて頑張ってほしいと思います。乗組こえた先には、絶対、自分にプラスになる世界が待っています。

平成二十八年度全日本剣道連盟より、剣道称号、及び各段位に合格された先生方の栄光を称えここに御紹介致します。

剣道称号合格者

阿部好廣先生
菊地柳太郎先生

安齋雅裕先生
戸田俊博先生

鍊士
菊地柳太郎先生

鍊士
戸田俊博先生

六段
佐藤潤先生

五段
鈴木克範先生

五段
内海泰史先生

五段
鈴木優寿先生

教士

教士
安齋雅裕先生

六段
佐藤潤先生

五段
鈴木克範先生

剣道段位合格者

七段
斎藤忠雄先生

七段
天野慶一先生

小松 加奈 剣道との出会い

私が通う剣道道場に、母と迎えに行つたのが、きっかけでした。最初の頃は、稽古が終わつた後のボーカル遊びや、お菓子やアイスが貰えるのが楽しみで、休まず通っていました。小学生の高学年になると、負けたくないという気持ちが強まり、家での素振りも始めました。

小学六年生の3月11日、東日本大震災が石巻を襲いました。自宅は津波によって全壊し、青葉中学校の体育館で避難生活を始めました。一心堂道場も被災し、稽古の出来ない状態が続きました。あの時は、生きることに必死で、剣道のことを考える余裕もありませんでした。そんな時、仙台や塩竈の先生方から、稽古や試合のお誘いをいただき、また剣道を再開することが出来ました。中学生の頃は、全国大会に出場することが目標で、上位入賞など、考えていませんでした。高校進学で悩んでいた頃、青森県の東奥義塾高校から、日本一を目指すならうちに来ないかというお誘いを受け、青森に行くことを決めました。寮での生活は、分からぬことだらけでしたが、先輩や先生の奥さんから、食事の配膳、洗濯、風呂掃除等いろいろ教えて頂き何とか出来るようになりました。先生からは、「日

本一になるためには、日本一の稽古と日本一の心が必要だ』の言葉を頂き日々の生活においては、常に感謝の気持ちを忘れないよう心がけました。剣道の稽古では、基本稽古が中心で、基本の習得がなければ、技も身につかないことがわかりました。

剣道の稽古もままならない状況からここまで成長できたのも、家族の支えや先生方、みなさんのおかげと深く感謝しています。これから先も剣道に精進し、大学でも日本一を目指し、世界でも活躍する選手になれるように頑張ります。

お知らせ

◎場所 河北総合センター
(ビッグバン)

◎内容

- ①公開演武
- ・日本剣道形
- ・居合道
- ②異種試合
- ・なぎなたvs剣道
- ③立ち切り試合
- ④五人掛・二刀対一刀
- ⑤その他
- ・小学生・中学生・高校生・一般



始めたばかりの頃兄達と

H28年インターハイ優勝時
(二位の同僚浅野選手と)

スポーツ少年団の紹介

一心堂

さる十一月二十七日、一心堂創立三十周年記念、鈴木清由杯争奪剣道大会が石巻市立青葉中学校体育館を会場に行われました。石巻市内はもちろん、県内外から多数参加を頂き、全二十七チームにて行われました。開会式では団長の戸澤正雄先生より「東日本大震災の時には道場も大きな被害を受け、復活できなないのではないか、もうやめてしまおうかと思つたこともありました。それでも稽古がしたいという子供達の声に後押しされ、また、稽古する場所を貸して頂いたり、手助けを頂くなど皆様の支えがありここまで頑張つてこれました。」と感謝の気持ちが述べられました。御祝辞を頂いた齋藤正美先生や木村民雄先生からは、「清由先生との思いで深いお話を頂き、審判長の菅井吉秀先生からは、「勝敗よりも思い出に残る楽しい試合をしてください。」とのお話を頂き試合が始まりました。

居合道の紹介

居合道部 部会長 今野 幸夫

居合道の紹介



試合の結果は次の通りです。

第三位 尚武殿 森山道場

石巻剣道連盟広報記録部
安藤 由雄

安藤
由貴子



穆古風景

稽古会等、現在行っています。居合道は模擬刀あるいは真剣を振り、実際にはいない「仮想敵」を斬り倒す「形」です。姿勢や刀を振り下ろす角度、技の正確さ、気迫などが求められます。剣道人が居合を修業したなら、刀を握ることにより手の内の締めがよく理解できると思います。ただ当てるという打ち方ではなく、手首がしまり、足腰の入った正しい打突が可能になります。氣劍体一致は居合も同じであり、

編集後記

この「剣道耕人」が対外的に石巻剣道連盟の活動を広報する為なのか、会員向けに親睦を図るためのものなのか、今後大いに議論する必要があると感じています。現在は広報誌という位置づけにあり、前者の意味合いが大勢を占めています。然し、発行先のほとんどが会員向けであることからすると、機関誌という捉え方をして、もう少しこだけた内容にすべきかも知れません。

よりレベルの高い剣道となるでしょう。是非体験をおすすめします。

各道場で居合に興味がある方がおられましたら、どしどし連絡下さい。お待ちしております。

「剣道耕人」発刊に当たり、原稿依頼に快諾して頂きました諸先生に御礼申し上げます。お陰様をもちまして第4号を発刊することが出来ました。この原稿を書きながら、広報誌「剣道耕人」は誰に向けて発行し、何のために発行するか考えてみました。誰に向けては会員であり、何のために会員相互の親睦連帯意識？活動記録？その他諸々の目的があるでしょう。「剣道」という共通の趣味・手段を使い人生の畠を耕す…。

この「剣道耕人」が対外的に石巻剣道連盟の活動を広報する為なのか、会員向けに親睦を図るためのものなのか、今後大いに議論する必要があると感じています。現在は広報誌という位置づけにあり、前者の意味合いが大勢を占めています。然し、発行先のほとんどが会員向けであることを考えると、機関誌という捉え方をして、もう少しくだけた内容にすべきかも知れません。取り留めのない編集後記になつてしましました。